

保護者の皆様、こんにちは。城南小学校長の高寺威と申します。本日はよろしくお願ひいたします。私は本校に着任して2年目となります。昨年度は、保護者の皆様や地域の皆様に温かく支えていただきながら、学校運営にあたることができました。また、子どもたちの無限の可能性や元気に日々触れ、私自身も大きな力をいただいております。

今日は、私から保護者の皆様にお伝えしたいことを、2点お話しさせていただきます。1つめは、今年度の学校運営で大切にしていきたいこと、2つめは、保護者の皆様へのお願いです。

それでは1つめ、学校運営で大切にしていきたいことです。それは、「**自他を尊重する力の育成**」です。これは、昨年度から子どもたちに話してきた「**友だちのよさに気づいてほしい**」、そして「**自分のよさを大切にしてほしい**」という思いを、**まとめた言葉**です。この4月の前期始業式では、子どもたちに次のような話をしました。「学校には、いろいろな人がいる。勉強が得意な人、運動が得意な人、やさしい人、最後までがんばる人。一人ひとりが、それぞれ違うよさをもっている。でも、そのよさは、見ようとしないと見つからない。だから、ぜひ『**見つける人**』になってほしい。そして、見つけたら、言葉で伝える人になってほしい」 私は、このような積み重ねを通して、自分のよさに気づき、それを大切にできる力が育っていくと考えています。

**保護者の皆様もぜひ、お子さんのよいところをたくさん見つけて、認めて、褒めていただければと思います。**また、お子さんだけでなく、ご家族一人ひとりや、私たち教職員のよいところにも目を向けていただけたら、大変うれしく思います。

2つめ、保護者の皆様へのお願いです。今からお話しするのは、私が学級担任をしていたときの

#### 卒業式の日



先生は、私がピンチになったり、悩んだりしたときに、いつも声をかけてくださり、一緒に解決方法を考えてくださいました。感謝しています。ありがとうございました。

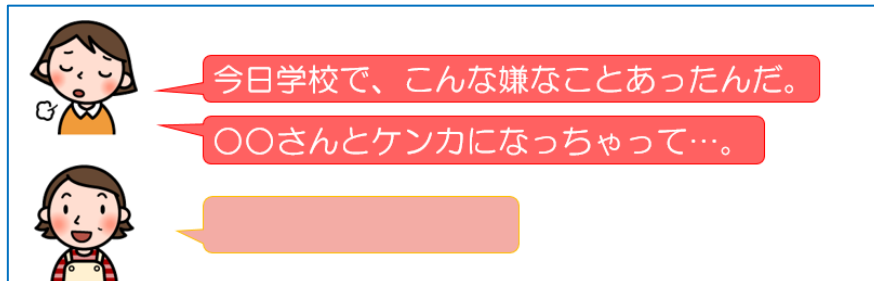
話です。それは卒業式の日のことです。あるお子さんが、私にこんなふうに感謝の気持ちを伝えてくれました。

こんなふうに伝えてくれる、このお子さんと私の関係について、どう思われますか。もちろんいろいろなことがありましたが、とてもよい関係だったと思います。

それにしてもすごいですよね。ピンチになったり、悩んだりしたとき、いつも声をかけてくれた、って、すごい先生だと思います。私のことですが。

でも実は、私はそんなすごい先生ではありません。どうして、そのタイミングで声をかけることができたと思いますか。

学校ではいろいろなことが起こります。集団で生活しているので、当たり前です。うれしいこと、楽しいこと、・・・よりも悲しいこと、つらいことの方が多いかもしれません。でもそこから多くを学ぶわけです。



家に帰って「・・・」とか「・・・」なんてことあるんじゃないかな、と思います。そんなとき、みなさんなら何と言って、お子さんを励ましますか。お子さんの思いを受け止めた上で、「こうしたらどう?」とか「先生に相談してみたら」なんて声をかけてくださるのかなと思います。間違っても「担任の高寺先生は、何にもしてくれないの。だめな先生だね」なんていったら、先ほどのような、よい関係性は生まれません。

実は、さきほどのお子さんの保護者の方は、**お子さんがピンチなとき、必ずこっそり、私に電話して、お子さんの状況を伝えてくださったんです。**

私の対応がまずく、家で、私に対しての不満をもらしたときも、「高寺先生は、きっとあなたのことを思って、そうしたんじゃない」とフォローを入れながら、こっそり私に電話をくれ、その状況を伝えてくださったんです。**だから、私は翌日、温かな声がけをすることができました。**

私たちは、**お子さんの笑顔が見たくて、そして成長を願って、同じ方向を向いて、力を合わせて、取り組まなければいけません。**そのことをお願いしたいと思います。

今日は2つ、お話しさせていただきました。これからも子どもたちのためによりしくお願いいたします。

